

交渉の議事要旨

(開催日時)

平成26年 3月31日(月) 15:00~15:42(42分間)

(開催場所)

室蘭開発建設部2階会議室

(出席者)

当局側(室蘭開発建設部)

今野 等(室蘭開発建設部次長)、木村 保雄(総務課長)

五百木 英明(総務課長補佐)

職員団体側(全北海道開発局労働組合室蘭支部)

島 一雄(執行委員長)、小坂 英人(副執行委員長)、中野 久嗣(執行委員)、

猪狩 光恵(執行委員)、高橋 夕(執行委員)

(議題)

当部本部庁舎の職場環境の改善について

(発言概要)

(職員団体) 本部庁舎の室温について、特定の課所から夏は暑く冬は寒いという意見が挙がっており、環境は改善されていないものと考えている。当局のより一層の努力を求める。

(当局) 本部庁舎の空調システムについては平成21年度に改修工事を行い、庁舎内の温度差について解消を図ったところであるが、細かな室温調整は難しい面がある。また、省エネルギーを進める観点から、室温は冷房中の28度、暖房中の19度を徹底しており、クールビズ又はウォームビズ等で対応をお願いしたい。なお、勤務時間終了後の冷暖房については、気温や職員の勤務状況等を勘案しながら、必要に応じて運用していく考えである。

(職員団体) 施設の廃止に伴う書庫の撤去が予定されているが、収納できない書類が事務室に溢れることにより、職場環境が悪化することがないようにしてもらいたい。

(当局) 文書整理を徹底し、職場環境の整備に努めるよう、引き続き課所長を指導していきたい。

(職員団体) 冬期間において、構内駐車場や玄関は凍結により危険な状態になることが度々ある。来庁者や職員が安全に通行できるよう改善を求める。

(当局) 当部では委託業者による除雪のほか、必要に応じて氷割りや滑り止めの砂を撒くなどの措置をしているところである。引き続き良好な職場環境となるよう取り組んでいきたい。

※文責は室蘭開発建設部当局(今後修正等があり得る。)